

contents

- ・岩下新病院長挨拶
- ・新任教授の紹介
- ・診療科紹介
- ・公開講演会スケジュール
- ・X線血管撮影装置を導入
- ・がん患者家族向け講演会



編集：杏林大学医学部付属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel 0422-47-5511 (代表)
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

新病院長のご挨拶



病院長 岩下 光利

産科婦人科教授
日本産科婦人科学会副理事長, 常務理事
三鷹医師会理事
当院総合周産期母子医療センター長
副病院長を経て
2015年4月病院長就任

当院は特定機能病院として、また高度急性期病院として、チームワークによる質の高い医療の実践、医療安全に対する最善の努力、地域医療の推進、良き医療従事者の育成、先進的な医療の実践と開発、の5つの基本方針を掲げ、地域に安全で良質な医療の提供を目指して職員一同一丸となって取り組んでまいりました。

24時間体制で一・二次救急に対応し、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、脳卒中センターなど緊急を要する各種疾患に対応できる体制を整備しております。

高度急性期病院に求められるものは質の高い医療や医療安全はもちろんのこと、地域医療施設との緊密な連携と役割分担が極めて大切と考えています。

近隣の先生方からご紹介いただいた患者さんは迅速に受け入れ、当院での急性期治療を終えられた患者さんの回復期管理やリハビリは地域の先生方をお願いしなければなりません。このような運用を円滑に行うため、当院では病院事務、看護部、医師、医療ソーシャルワーカーなどの医療スタッフが連携して患者さんを支援する患者支援センターの機能を大幅に拡充してまいりました。今まで以上に、近隣の先生方との連携を深め、効率的な地域医療に取り組んでまいりたいと思います。

◆ 腫瘍内科

がん治療としては、外科手術、放射線治療、抗がん剤治療といった方法が広く行われています。腫瘍内科は、抗がん剤治療（がん薬物療法）を中心に、臓器や治療手技にとらわれず、包括的、全体的な視点で診療を行っています。最近では、抗がん剤治療は外来で行うことが増えており、入院をせずに通院で治療を進めることが可能です。そのために、外来化学療法室や化学療法病棟は、抗がん剤治療を専門に行う部門として整備しています。専門医のほか、がん専門薬剤師やがん専門看護師を含めたスタッフが協力して、安心して治療を行えるように配慮しています。また、切除困難ながんでは、新規の抗がん剤開発も重要で、国内外の施設とも協力しながら、治験や臨床試験を積極的に展開し、新しい治療法の開発を進めています。さらに、地域での安心した在宅治療を行うため、近隣の病院や診療所、往診専門クリニック、緩和ケア病院（ホスピス）と積極的に連携しています。

診療科紹介

◆ 形成外科

形成外科は、顔面や手などの先天異常の治療から、外傷などによる後天的な変形に対する治療、癌治療後の再建に至るまで、幅広い領域をカバーする診療科です。また、美容外科も形成外科の一分野であり、近年はアンチエイジングとして医学的見地からの幅広いアプローチを行っています。杏林大学形成外科では、総勢20名を越える都内随一を誇るスタッフが、それぞれの専門分野を生かしながら、患者さんにとって最適な治療法を選択して診療に当たっています。特に、陳旧性顔面神経麻痺に対する再建、乳癌や頭頸部癌の切除後再建、下肢難治性潰瘍、顔面外傷（挫創、骨折など）、血管腫・血管奇形の治療に力を入れております。

また、近隣の医療機関との連携も大切にしており、例えば、皮膚科のクリニックからは顔面領域の皮膚・皮下腫瘍、眼科のクリニックからは眼瞼下垂症の患者さんを多く紹介頂いています。今後も皆様のお役に立てるよう努力していきます。

◆ 最新のX線血管撮影装置を導入

外来棟地下1階、血管撮影室に最新型のX線血管撮影装置（シーメンス社製 Artis Q biplane）が導入され、3月25日から稼働が始まりました。この装置は頭部の血管を撮影するためのもので、正面と側面の2方向から同時に撮影が可能となる“バイプレーンシステム”を搭載しているため、撮影時間が半減するのみならず、撮影時に患者さんに投与する造影剤の量が半分となり、身体への負担が半減します。さらに従来型より被ばく量を大幅に抑えることもできます。また、高解像度の画質を備えているため、疾患がより判明しやすくなります。当院にある5台の血管撮影装置のうち、最新型の装置はこれで4台目となり、放射線部では患者さんのためにこれらの装置を有効活用していきます。



「がんと共にすこやかに生きる」

がん患者のためのプログラムとして、講演会の開催と、その後に患者ご本人との話し合いの場を設けています。患者さんご本人、家族・友人、がんになった時のことが心配な方など、どなたでも参加いただけます。

- 日程
- 6月6日 がん治療の基礎知識
 - 7月18日 最新のがん化学療法
 - 8月29日 がんと食事
 - 9月26日 制度と人、ホスピス、緩和ケア、在宅医療
 - 10月31日 ストレスマネージメント
 - 2月27日 上手くすすめよう！がんと仕事
 - 3月12日 演題未定

* 毎土曜日
時間：13:30～14:30（講演会）
14:45～15:45（語らいの場）
場所：杏林大学病院第2病棟4階 大学院講堂
※参加費・予約不要
* 最新情報は当院HPがんセンター参照

■ 新任教授紹介



皮膚科学教室

大 山 学

慶應義塾大学医学部卒業。平成5年慶應義塾大学医学部解剖学教室助手（組織学・発生学）、平成6年同病院皮膚科研修医、平成8年国立霞ヶ浦病院皮膚科レジデント、平成12年東京電力病院皮膚科副科長、平成14-17年米国 NIH、National Cancer Institute 皮膚科訪問研究員、平成17年慶應義塾大学医学部皮膚科学教室助手、平成18年同専任講師、平成26年同准教授などを歴任。平成27年4月杏林大学医学部皮膚科学教室教授着任

脱毛症、水疱症などの自己免疫性疾患が専門です。再生医学を研究の主なテーマとし、得た知見の臨床への還元に努めています。また、地域の中核的医療センターとして、近隣の医療機関との連携を大切に、医療の向上に寄与したいと思っております。



耳鼻咽喉科学教室

齋藤 康一郎

慶應義塾大学医学部卒業。平成7年慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室研修医、平成15年ジョンスホプキンス医科大学耳鼻咽喉科 Visiting scientist、平成17年ペンシルベニア大学医学部耳鼻咽喉科 Research fellow、平成18年慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室助手、平成21年同専任講師、平成26年同准教授などを歴任。平成27年4月杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室教授着任

これまで一貫して喉頭・音声科学に取り組んできました。耳鼻咽喉科学は、耳科学、鼻科学、頭頸部腫瘍学、音声言語医学など様々な学問の集合体です。今後は、コメディカルとも連携したチームとしての診療体制を充実させ、質の高い医療を提供すべく尽力します。



第三内科学教室

(消化器内科)

久松 理一

慶應義塾大学医学部卒業。平成3年慶應義塾大学病院内科研修医、平成5年伊勢慶應病院内科、平成6年社会保険埼玉中央病院内科、平成7年慶應義塾大学病院内科専任医、平成9年東京歯科大学市川総合病院内科助手、平成12年米国ハーバード大学マサチューセッツ総合病院消化器科研究員、平成15年慶應義塾大学医学部内科学（消化器）助手（現助教）、平成20年学部内専任講師、専任講師、准教授などを歴任。平成27年4月杏林大学医学部第三内科学教室教授着任

専門は炎症性腸疾患（inflammatory bowel disease; IBD）と呼ばれる難治性腸疾患です。これから、消化器内科ならびに杏林大学医学部の発展のために広い視野で精進するとともに、後進の育成に努めていきます。



臨床検査医学教室

大西 宏明

東京大学医学部卒業。平成2年東京大学医学部附属病院小児科研修医、平成3年大田総合病院西の内病院小児科医員、平成4年埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科専門臨床研修医、平成5年東京大学医学部附属病院小児科医員、平成8年同助手、平成11年米国ベ일러医科大学遺伝子治療部門研究員などを歴任。平成13年杏林大学医学部臨床検査医学講師着任。平成19年同准教授、平成20年同病院造血細胞治療センター長（兼任）、平成27年4月同臨床検査医学臨床教授就任

必要性・正確性・安全性の高い新たな検査法の導入や検査体制の整備を行うとともに、新たな移植治療にも対応できるよう、必要な体制を構築していきます。



第二内科学教室

(循環器内科)

副島 京子

慶應義塾大学医学部卒業。平成5年慶應義塾大学医学部助手、平成10年米国ハーバード大学 Brigham and Women's Hospital 不整脈フェロー、平成13年同循環器内科講師、平成16年同助教、平成16年慶應義塾大学循環器内科心臓病先進治療学講座講師、平成20年マイアミ大学循環器科准教授、平成21年聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院 循環器科講師などを歴任。平成23年杏林大学医学部第二内科学教室准教授、同病院不整脈センター長着任。平成27年4月同臨床教授就任

平成10年より不整脈学を専門として日米で臨床に携わってきました。日進月歩の進歩をとげる不整脈治療の領域で、どんどん良いものを発信していきたいと思っております。



第三内科学教室

(消化器内科)

森 秀明

杏林大学大学院医学研究科修了。昭和56年杏林大学医学部付属病院第3内科研修医、昭和58年茅ヶ崎市立病院消化器科医員、昭和59年朝日生命成人病研究所消化器科医員、昭和62年杏林大学第三内科学教室助手着任。平成7年同講師、平成15年同助教、平成19年同准教授、平成27年4月同臨床教授就任

肝・胆・膵疾患を中心に診療に従事しています。腹部超音波診断学を研究および臨床の場に活かすなど、患者さんの満足度の高い医療を提供できるよう今後も邁進していきます。

平成27年度 前期杏林大学公開講演会 (5月～10月)

日時・会場	テーマ	日時・会場	テーマ
5/9 (土) 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	脳卒中治療・予防・リハビリテーション 医学部教授 平野照之, 講師 山田 深	6/10 (水) 13:30-15:00 八王子学園都市センター	介護予防とリハビリテーション 保健学部講師 一場友実
5/16 (土) 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	こんなに怖い糖尿病性足病変 保健学部教授 大浦紀彦	9/5 (土) 13:00-15:30 羽村市ゆとろぎ	秋の夜長の睡眠法 医学部教授 古賀良彦
5/23 (土) 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	動悸, 息切れ, 胸痛, 失神 どんなとき 医者にかかりますか? 医務学教授 吉野秀朗	10/17 (土) 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	高齢者のアルコール性認知症 医学部准教授 松井敏史
5/30 (土) 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	熱中症と低体温症 何に注意しどう 対処する? 保健学部教授 和田貴子	10/24 (土) 13:30-15:00 八王子学園都市センター	前立腺がんの最新治療 医学部教授 桶川隆嗣

会場のご案内

- 三鷹ネットワーク大学: R三鷹南協司ビル3階 ●八王子学園都市センター: R八王子駅 (京王八王子駅徒歩5分)
- 羽村市ゆとろぎ: 生涯学習センター R羽村駅徒歩8分

